

# LB パスワード付きCD/DVD作成ツール CD/DVD ロック2

販売元： 株式会社ライフボート  
開発元： 株式会社エスコンピュータ

## 利用ガイド



**LIFEBOAT**  
a megasoft company

『LB CD/DVD ロック2』のプログラムと利用ガイドは、著作権法で保護された著作物であり、その全部あるいは一部を株式会社ライフボートの事前の明示的な許可なく複製したり、転送したり、格納したり、他のコンピューター用に変換したり、あるいは他の言語に翻訳したりすると、著作権の侵害になります。

『LB CD/DVD ロック2』、『LB フリーレシーバー』、『LB メディアロック3』、『LB メディアロック3 フリーレシーバー』は株式会社ライフボートの商標です。

『キチッと秘密メディアロック2』、『キチッと秘密メディアロック2 フリーレシーバー』は、株式会社エスコンピュータの商標です。

IBM は、IBM Corporation の登録商標、OS/2、Personal System/2、AT、XT、PC はそれぞれ同社の商標です。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

#### 注意

この利用ガイドに記載されている情報は、予告無しに変更されることがあります。

株式会社ライフボートは、本利用ガイドあるいはプログラムに記載されている内容に対していかなる誤りが含まれる場合にも、一切の保証を行いません。

#### EDITION

July 2010

Copyright© 2010 by Lifeboat, inc.

All rights reserved.

Printed in Japan

#### PUBLISHED BY

株式会社ライフボート

東京都千代田区神田神保町 2-2-34

ホームページ: <http://www.lifeboat.jp/>

# 目次

第1章	ユーザー登録	4
第1節	ユーザー登録をされたお客様へのサービス	4
第2節	サポートについて	4
第3節	ユーザー登録の方法	4
第2章	LB CD/DVD ロック 2 の概要	5
第1節	LB CD/DVD ロック 2 について	5
第2節	LB CD/DVD ロック 2 の機能	5
第3節	動作環境	6
第4節	注意事項	8
第3章	LB CD/DVD ロック 2 のインストール	11
第1節	インストール	11
第2節	IMAPI のアップデート	18
第3節	アンインストール	21
第4章	使用方法	23
第1節	書き込み用ウィザード	23
第2節	ディスク作成前の準備	28
第3節	ディスクの作成	29
第4節	パスワード付きディスクを使用する	40
第5節	ディスクの書き込みに失敗する場合	44
第5章	フリーレシーバー	47
第1節	フリーレシーバーについて	47
第2節	フリーレシーバーご利用上の注意事項	49
第3節	メディアロックシリーズとの互換性について	49
第4節	フリーレシーバーをディスクに添付する	51
第5節	フリーレシーバーの起動とインストール	53

## 第1章 ユーザー登録

『LB CD/DVD ロック2』のご購入後、必ずユーザー登録を行ってください。

### 第1節 ユーザー登録をされたお客様へのサービス

ライフポート製品をお持ちのユーザー様は、新規ユーザー登録をさせていただくことによりバージョンアップ情報や優待販売のご案内、テクニカルサポートなどのサービスをご利用いただけます。

ご登録いただいた内容に変更がある場合は登録内容を変更することができます。

### 第2節 サポートについて

ライフポートでは、ユーザー登録をされたお客様に対し、そのソフトウェアが使用可能なシステム環境で発生した問題に対するテクニカルサポートを行っております。サポートセンターのご利用方法等は、本製品に同梱された補足説明書をご覧ください。

### 第3節 ユーザー登録の方法

ご購入された『LB CD/DVD ロック2』は、同梱されたユーザー登録はがきをご利用いただくか、ライフポートのホームページ(<http://www.lifeboat.jp/reg/>)のオンラインユーザー登録メニューから簡単にお手続きいただくことができます。詳しくは本製品に同梱された補足説明書をご覧ください。

## 第2章 LB CD/DVD ロック 2の概要

### 第1節 LB CD/DVD ロック2について

『LB CD/DVD ロック2』は、わずか2ステップの簡単な操作でパスワード付きのCD、DVD、Blu-rayディスクを作成することができるユーティリティソフトです。

家族や友人との思い出の画像/動画等のプライベートなデータはもちろん、個人情報や社外秘のデータ等をディスクに保管する際に大切なデータを守る必須のツールです。

### 第2節 LB CD/DVD ロック 2 の機能

- ウィザードに従って操作するだけの簡単操作でパスワード付きディスクを作成することができます。
  - ・ AESによる強力な暗号化をします(鍵長 128/256 ビット選択可能)。
  - ・ ディスクにはパスワード認証を必要とする「暗号化領域」と認証なしで読み取り可能な通常のデータを同時に収録することができます。
- Blu-ray を含む幅広い種類の光ディスクに対応
  - ・ CD-R/RWをはじめ2層記録式ディスクを含む各種 DVD や Blu-ray ディスク等、多くの種類のディスクを使用することができます。
- パスワードを1回入力するだけの簡単操作
  - ・ パスワードを1回入力するだけの簡単な操作でパスワード付きディスクの認証をすることができます。
- パスワード付きディスクをどのPCでもパスワード認証できる(フリーレシーバー)
  - ・ パスワードつきディスクの作成時に、認証用ツール『LB フリーレシーバー』を添付することができます。
  - ・ 同時に複数のパスワード付きディスクを有効にして使用することができます。

- パスワード付きディスクに有効期限を設定可能。
  - ・ パスワード付きディスクに有効期限を設定することができます。有効期限を過ぎたディスクは使用することができなくなります。
  
- 米国標準技術局(NIST)による暗号化方式 AES(鍵長 256 ビット)を採用
  - ・ 指定するパスワードのハッシュ値を暗号化のキーに使用します。
  - ・ パスワードは1バイト以上の英数字、記号、空白を含む半角文字(半角カナを除く)を指定することが可能です。
  - ・ 異なるディスクには異なるパスワードを指定することが可能です。
  
- Windows 7 対応
  - ・ Windows 7、64bit OS といった最新のシステムに対応します。

## 第3節 動作環境

### LB CD/DVD ロック2

- 対応機種： 各社DOS/V機(NEC PC-9800、PC9821シリーズ、Macintoshでは動作しません)
- 対応OS： 日本語Windows 7/ Vista(32ビット、64ビット)、XP SP2以上(32ビット)
- 対応CPU： Pentium 300MHzインテル互換CPU(Vista/7の場合は1GHz以上)
- ハードディスクの空き容量： 30MB以上
- 必要メモリ： 256MB以上(Vista/7の場合は1GB以上)

#### その他

- Windows のライティング機能が有効になっていること
  - ※ ディスクの書き込みは、Windows の書き込み機能を利用します。使用できるディスクの種類は OS やサービスパックにより異なります。
- 書き込み可能な光学ドライブ
  - ※ 使用できるディスクの種類はコンピューターに装着された光学ドライブの機能により異なります。

- ディスクの書き込み時には、作業領域として、作成するディスクの倍程度の空き容量が必要です。

#### LB フリーレシーバー

- 対応機種： 各社DOS/V機(NEC PC-9800、PC9821シリーズ、Macintoshでは動作しません)
- 対応OS： 日本語Windows XP SP2以上 /Vista /7(32ビット、64ビット)
- 対応CPU： Pentium 300MHzインテル互換CPU(Vista/7の場合は1GHz以上)
- ハードディスクの空き容量： 20MB以上(フリーレシーバーは10MB以上)
- 必要メモリ： 256MB以上(Vista/7の場合は1GB以上)

#### 対応するディスクの種類

以下の種類の光ディスクに対応しています。

CD-R	CD-RW	DVD-RAM	
DVD-R	DVD-RW	DVD-RW DL	
DVD+R	DVD+RW	DVD+RW DL	
BD-R	BD-RE	BD-R DL	BD-RE DL

#### 注意

使用できるディスクの種類は、ご使用の Windows 環境、光学ディスクドライブの種類により異なります。

Window XP、Windows Vista 環境にて、DVD、Blu-ray を使用する場合、IMAPI※および Windows の更新プログラムを最新の状態にする必要があります。

※ IMAPI: Image Mastering API - 光ディスクの書き込みに使用される Windows のコンポーネント。Windows XP 以降に導入されています。

## 第4節 注意事項

### LB CD/DVD ロック2のご使用前に必ずお読みください

#### <パスワード付きディスクについて>

パスワード付きディスクは、ディスク上に暗号化とパスワードで保護された独自形式の仮想ディスクイメージ(秘密領域)を書きこむことにより作成されます。

専用のツール(LB フリーレシーバー)を使用してパスワード認証をすることで、秘密領域がドライブとして使用できるようになります。

- ※ 作成されたパスワード付きディスクは、データの追記が可能な状態となります。ディスクに空きスペースがある場合、データを追記することができます(パスワード認証が必要な暗号化領域にデータを追記することはできません)。追記不可のディスクを作成したい場合、パスワード付きディスクの作成後、他のライティングツールを使用してディスクのファイナライズ(最終処理)処理をしてください。
- ※ 秘密領域はサイズによりFATまたはFAT32形式となります。258MB未満はFAT形式、259MB以上はFAT32形式となります。このため、Blu-ray等の大容量ディスクを使用した場合でも、ディスクの秘密領域に書き込める1ファイルの最大サイズは4GBとなります。
- ※ DVD-RAM、Blu-ray等の書き換え可能ディスクの場合でも、パスワード認証後に、秘密領域内のファイルを書き換えることはできません。

#### <パスワード付きディスクを再生できる機器について>

本製品を使用して作成されたパスワード付きディスクは、Windows 搭載コンピューター専用となります(CD、DVD、Blu-ray プレイヤー等で直接、再生することができません)。

#### <対応するディスクの種類について>

ディスクへ実際の書き込みは、Windows のコンポーネント(IMAPI)が使用されます。ディスクの種類が対応リストに含まれている場合でも、Windows のライティング機能が正常に動作していない場合、更新プログラムが未適用の場合、ディスクに対応するドライブが接続されていない場合は、パスワード付ディスクを作成できないことがあります。

### ＜パスワード付きディスクの作成時間＞

『LB CD/DVD ロック 2』のディスクの書き込みは、実際の書き込みをする前に、暗号化領域の作成処理をするため、通常のディスク書き込みより多くの時間を要することがあります。

### ＜他のアプリケーションとの併用について＞

他の仮想ドライブソフトとの併用はサポートしておりません。

他のライティングツールがインストールされている場合、『LB CD/DVD ロック 2』が正常に動作しないケースが考えられます。この場合、他のライティングツールをアンインストールする必要があります。

### ＜データの互換性について＞

本製品には、「パスワード CD/DVD」とのデータの互換性はありません。

本製品を使用して作成したパスワード付きディスクは、『LB メディアロック 3』(3.0.2 以上)、および『LB メディアロック 3 フリーレシーバー』(3.0.2 以上)を使用してパスワード認証することができます。

### ＜パスワードの管理＞

パスワード付きディスクを作成する際に設定したパスワードは、ユーザー様の自己責任で厳重に管理してください。製品の性質上、パスワードの紛失に関するサポートはご提供できません。

### ＜インストール時およびアンインストール時のユーザーカウントについて＞

インストールおよびアンインストールの際は、管理者権限でログオンしておく必要があります。

### ＜ご利用環境上の留意点について＞

『LB フリーレシーバー』では、コンピューターに接続されたストレージデバイスを定期的に巡回し、パスワード付きディスクおよび、秘密領域を含んだメディアが装着されたかどうかを監視しています。ストレージデバイス(より正確にはそのデバイスドライバ)によっては、フォーマットされたメディアの有無を正確に返してこない場合があり、そのような場合にはコンピューターの動作が遅くなったように見えることがあります。

パスワード付きディスクは暗号化および仮想化されているため、通常のドライブに比べてファイルの読み取りに要する時間が長くなります。

「秘密ドライブ書き込みリスト」に登録してディスクに書き込まれたファイルやフォルダーは、「AES」により暗号化されます。暗号化されたデータは、ディスク解析ツールを単純に使用しただけで解析できるものではありません。しかし、設定するパスワードを推測しやすいものにしておくと、パスワード付きディスクが万一他人の手に渡ったときに解読されてしまう危険性が增大します。

パスワードの紛失、有効期限を過ぎたディスクのデータ復旧に関するお問い合わせは一切受け付けません。パスワード付きディスクに大切なデータを書き込む際は、予め異なるメディアにデータのバックアップを取るようしてください。

#### <旧バージョンのメディアロックをご使用の場合>

パスワード付ディスクのパスワード認証には『LB フリーレシーバー』を使用します。

『キチッと秘密メディアロック』シリーズおよび、『キチッと秘密メディアロック フリーレシーバー』(Ver.2.0)、(Ver.2.5)がインストールされている場合、『LB フリーレシーバー』を使用することができません。予めアンインストールしておく必要があります。

『LB メディアロック 3』、『LB メディアロック 3 フリーレシーバー』の最新バージョンには『LB フリーレシーバー』と同等の機能が含まれております。

#### <よくある質問(FAQ)>

下記のページにて FAQ を公開しております。

<http://www.lifeboat.jp/support/faq/>

## 第3章 LB CD/DVD ロック2のインストール

### 第1節 インストール

#### 注意:

インストールするにはライセンスキーが必要です。

(ライセンスキーは、パッケージ製品の場合、同梱されたユーザー登録はがきに記載されています。ダウンロード製品の場合は、購入時のメール等をご確認ください。)

※ インストールは必ず管理者権限で Windows にログオンしてから実行してください。

- 『LB CD/DVD ロック2』のCD-ROMをドライブにセットすると、自動的にインストールのためのメニューが起動します (Windows 7/Vistaでは「自動再生」に関するポップアップメッセージが表示されるので「setup.exeの実行」をクリックします)。

自動的に起動しない場合は、次のようにしてメニューを起動することができます。

#### Windows 7 /Vista

「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「ファイル名を指定して実行」の順に操作して、D:¥setup.exe を入力して「OK」をクリックします。(CD-ROM ドライブが例えば D ドライブの場合)



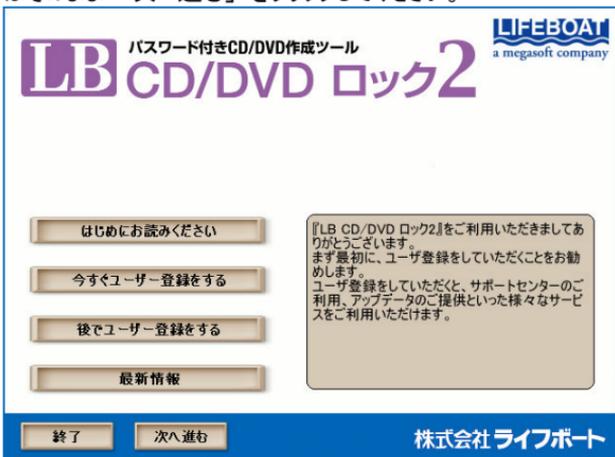
Windows 7 /Vista の「ユーザーアカウント制御」を有効にしている環境では、「認識できないプログラムがこのコンピューターへのアクセスを要求しています」というメッセージを表示する警告画面が表示されますが、「許可」をクリックして「setup.exe」を実行してください。

#### Windows XP

「スタート」-「ファイル名を指定して実行」とします。

D:¥setup.exe を入力して「OK」をクリックします。(CD-ROM ドライブが例えば D ドライブの場合)

2. はじめにメニュー画面が起動します。「今すぐユーザー登録」をクリックすると、ブラウザが起動してライフボートのオンラインユーザー登録ページが開きますので、登録手続きをお願いします。登録が完了したら「次へ進む」をクリックしてください。ユーザー登録はインストールが完了した後からでも可能です。後で登録したい場合はそのまま「次へ進む」をクリックしてください。



Windows 7 /Vista の環境では、プログラムのインストール完了等により「終了」をクリックした場合やインストールを途中で中断した場合に、「プログラム互換性アシスタント」画面で「このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります」と表示されます。この場合、「キャンセル」をクリックして「プログラム互換性アシスタント」を終了してください。

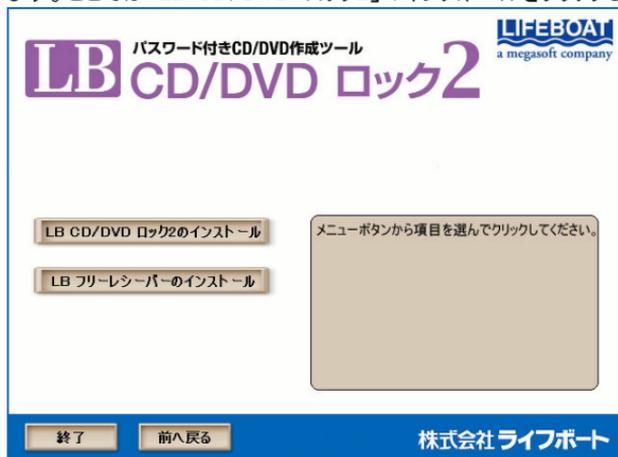


## 3. 「インストール」を選択します。



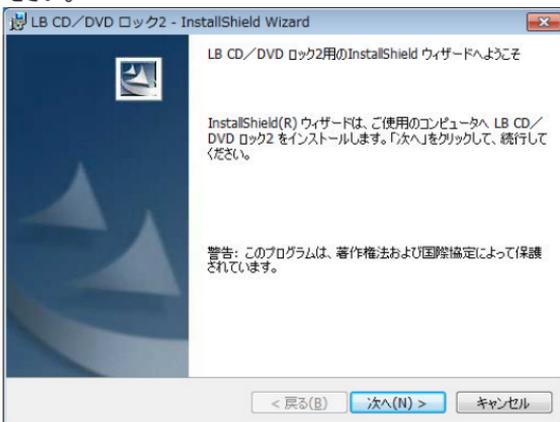
メニューボタンの説明	
クイックガイド	クイックガイドを開きます。簡単な使用方法についてはこちらをご参照ください。
インストール	『LB CD/DVD ロック2』、『LB フリーシーバー』のインストールを選択することができます。
ドキュメント	利用ガイド、補足説明書、サポートに関するドキュメントを収録しています。使用方法の詳細等についてはこちらをご参照ください。 ※各ドキュメントはPDF形式で収録されています。
Adobe Reader の入手	Adobe Readerがコンピューターにインストールされていない場合にクリックします。

4. 『LB CD/DVD ロック2』と『LB フリーレシーバー』のインストールを選択することができます。ここでは「LB CD/DVD ロック2」のインストールをクリックします。

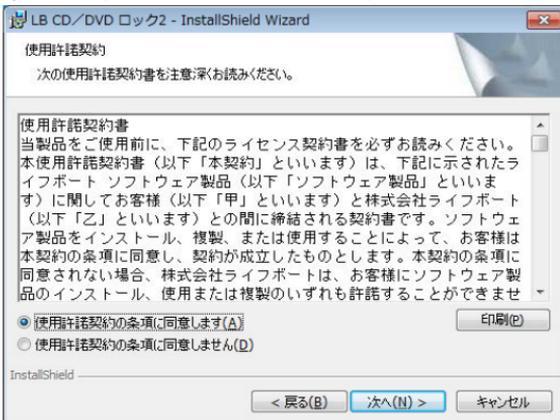


メニューボタンの説明	
LB CD/DVD ロック 2 のインストール	『LB CD/DVD ロック2』のインストールを開始します。
LB フリーレシーバーのインストール	『LB フリーレシーバー』のインストールを開始します。パスワード付きディスクを認証するためには、『LB フリーレシーバー』がコンピューターにインストールされているか、またはディスクに『LB フリーレシーバー』が添付されている必要があります。『LB CD/DVD ロック2』自体にはパスワード付ディスクを認証する機能はありません。

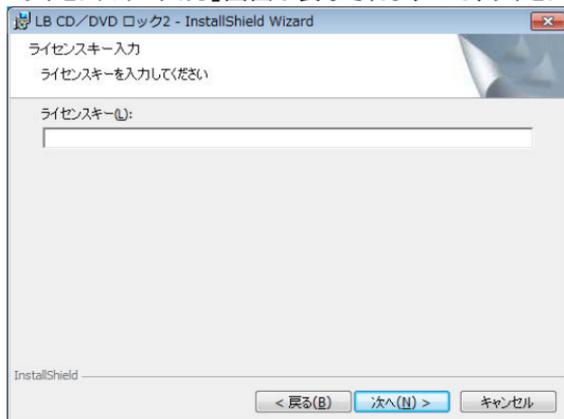
5. 『LB CD/DVD ロック2』のセットアップ画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



6. 「使用許諾契約」画面が表示されます。契約内容をよくお読みいただき、同意いただける場合は「使用許諾契約の全条項に同意します」、同意いただけない場合には「使用許諾契約の条項に同意しません」を選択してください。同意いただけない場合には、インストールを中止します。

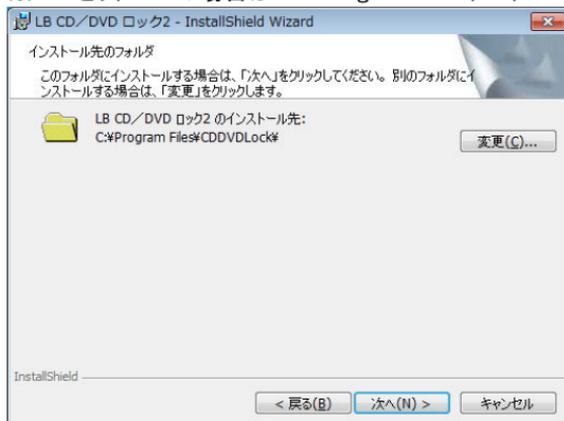


7. 「ライセンスキー入力」画面が表示されますので、ライセンスキーを入力してください。

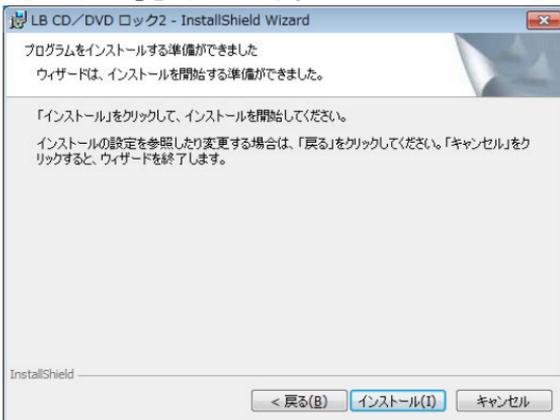


ライセンスキーは半角  
英数字で正確に入力  
する必要があります。

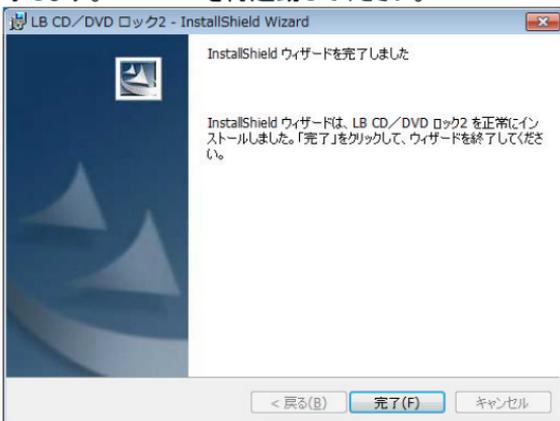
8. 「インストール先の選択」画面が表示されます。初期設定「C:\Program Files\LB CDDVDLock」(※)以外のパスにインストールする場合は「変更」をクリックしてインストール先を指定します。「次へ」をクリックすると、ファイルのコピーが始まります。  
※ 64ビット OS の場合は「C:\Program Files(x86) \LB CDDVDLock」



## 9. 「インストール」をクリックします。



## 10. 「インストールを終了しました」画面が表示されます。以上でインストール作業は完了します。Windows を再起動してください。



## 第2節 IMAPI のアップデート

『LB CD/DVD ロック 2』のディスクの書き込みは Windows コンポーネントに含まれる機能 (IMAPI※)を使用します。

Windows XP/Vista の環境では、IMAPI の状態により、『LB CD/DVD ロック 2』の起動時に「お使いの環境は DVD、Blu-ray への書き込みに対応していません。Windows 更新プログラムをインストールしますか?」というメッセージが表示されます。このメッセージが表示される場合、ご使用の環境は DVD や Blu-ray への書き込みに対応していません。

※ IMAPI: Image Mastering API – 光ディスクの書き込みに使用される Windows のコンポーネント。Windows XP 以降に導入されています。



Windows 7 の環境ではこのメッセージが表示されることはありません。

上記メッセージウィンドウから「はい」をクリックして IMAPI の更新モジュールをインストールしてください。

- ※ メッセージが表示されない場合でも、環境によっては DVD や Blu-ray への書き込みができないことがあります。
- ※ 「いいえ」をクリックすると、『LB CD/DVD ロック 2』の再起動時にメッセージが再表示されます。

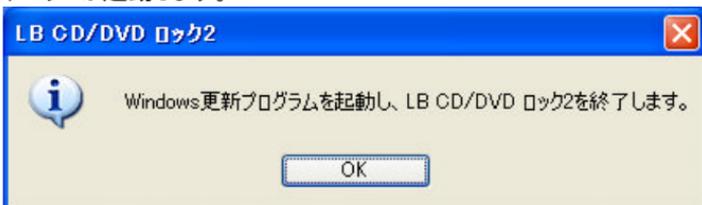
## 更新の手順:

Windows XP の例を示しますが、Windows Vista の場合も同様の手順で更新することができます。

1. 「はい」をクリックします。



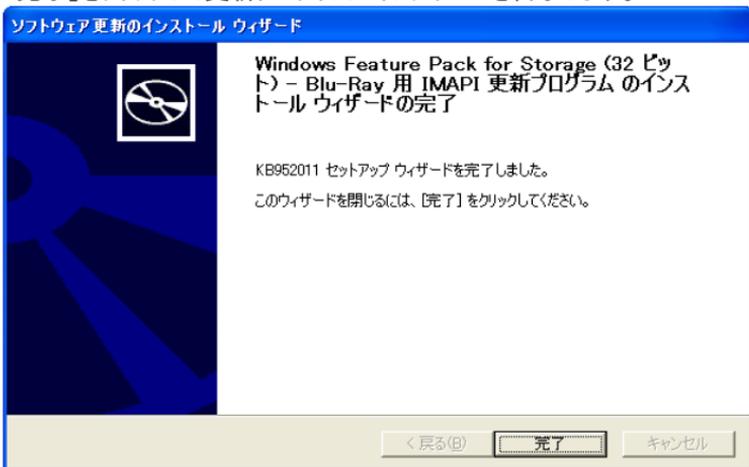
2. 「OK」をクリックすると『LB CD/DVD ロック2』が終了して、更新プログラムのインストーラーが起動します。



3. 「次へ」をクリックします。



4. 「完了」をクリックして更新プログラムのインストールを終了します。



5. 更新プログラムのインストール後、必ずコンピューターを再起動してください。  
再起動しない場合、DVD、Blu-rayへの書き込みが有効にならないことがあります。

### 第3節 アンインストール

『CD/DVD ロック 2』のアンインストール手順について説明します。

1. **Windows 7 /Vista**

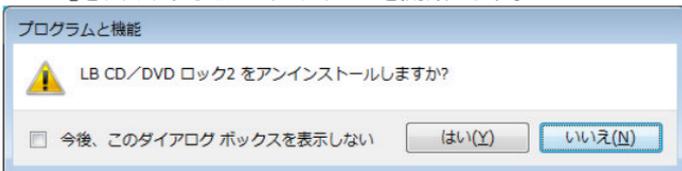
「スタート」-「コントロールパネル」-「プログラムと機能」-「LB CD/DVD ロック2」を選択して「削除」をクリックします。

**Windows XP**

Windowsの「スタート」-「コントロールパネル」-「アプリケーションの追加と削除」-「LB CD/DVD ロック2」を選択して「削除」をクリックします。

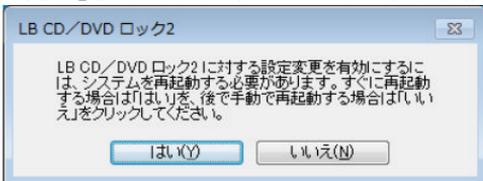
※ アンインストールを開始する前に、予め管理者権限のあるユーザーで Windows にログオンしておく必要があります。

2. 「はい」をクリックするとアンインストールを開始します。



※ ユーザーアカウント制御によるソフトウェアの更新許可の確認画面が表示される場合 (Windows 7/Vista) は「はい」をクリックする必要があります。

3. 「完了」をクリックすると、コンピューターを再起動してアンインストールが完了します。



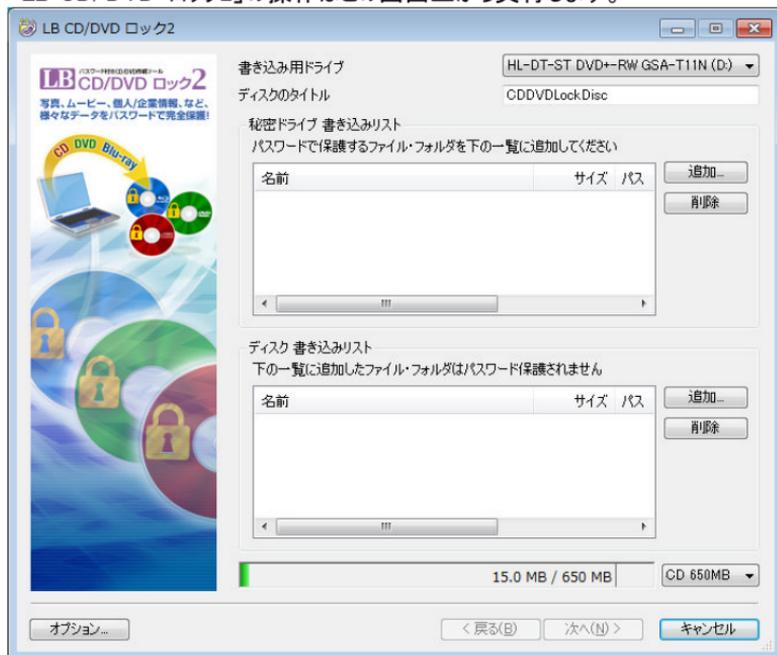


## 第4章 使用方法

### 第1節 書き込み用ウィザード

「スタート」メニューから「LB CD/DVD ロック2」を選択すると、以下の画面（書き込み用ウィザード）が起動します。

「LB CD/DVD ロック2」の操作はこの画面上から実行します。



## 設定項目の説明



## ①「書き込み用ドライブ」

ディスクの書き込みに使用するドライブを指定します。

複数のドライブが接続されている場合、プルダウンでドライブを選択することができます。

HL-DT-ST DVD+-RW GSA-T11N (D:) ▼  
 HL-DT-ST DVD+-RW GSA-T11N (D:)  
 MATSHITA DVD-RAM SW-9572 (F:)  
 Optiarc BD RW BD-5730S (G:)

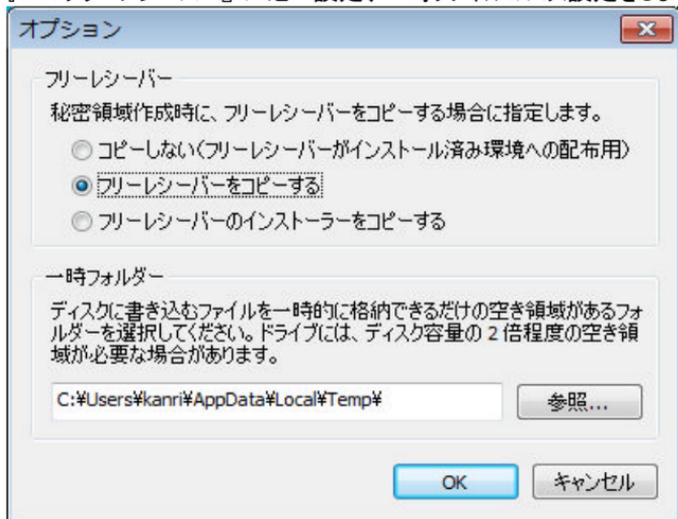
IMAPI のアップデートを実行した直後や外付けドライブへの電源投入直後等、ドライブが接続された状態でもリストにドライブ名が表示されない場合は、コンピュータの再起動をしてください。

## ②「ディスクのタイトル」

ディスクのタイトル名(ボリュームラベル)を入力します。入力できる文字数は最大 16 文字です。

## ③「オプション」

『LB フリーレシーバー』のコピー設定、一時ファイルのパス設定をします。



### 「フリーレシーバー」(パスワード付きディスク認証用ツール)

パスワード付きディスクにフリーレシーバーを添付することができますが、添付の有無を選択します。フリーレシーバーの詳細は「第 5 章」をご参照ください。

※ 『LB CD/DVD ロック 2』本体にはパスワード付きディスクを認証する機能はありません。

#### コピーしない

『LB フリーレシーバー』、『LB メディアロック 3』、『LB メディアロック 3 フリーレシーバー』がインストール済みの環境で使用できるディスクを作成する場合、こちらを選択することをお勧めします。

フリーレシーバーをコピーする
フリーレシーバーが添付され、作成したディスクをコンピューターにセットすると、フリーレシーバーが自動起動します(標準設定)。通常はこの設定を使用します。
フリーレシーバーのインストーラーをコピーする
インストールして使用するタイプのフリーレシーバーがディスクに添付されます。

### 「一時フォルダー」

ディスク書き込みをする際に作業用に使用するためのフォルダーを指定します。一時フォルダーには作成するディスクの2倍程度の空き容量が必要となる場合があります。

デフォルトの設定では、システムドライブを指定していますが、十分な空き容量を確保できない可能性がある場合は「参照」をクリックして一時フォルダーのパスを変更してください。

たとえば 25GB の BD-R を作成する場合、50GB の容量が必要となることがあります。

一時ファイルのデフォルトのパス(Cドライブにアプリケーションをインストールした場合)

#### Windows 7 Vista

C:\Users<ユーザー名>\AppData\Local\Temp\

#### Windows XP

C:\Documents and Settings<ユーザー名>\Local Settings\Temp\

※ ユーザー名: Windows にログオンしているユーザー名

### ④「秘密ドライブ書き込みリスト」

パスワード保護(暗号化)するファイル/フォルダーを登録します。

ファイル/フォルダーの登録はエクスプローラーやマイコンピューターから登録したいファイルをリストへドラッグ&ドロップします。

※ 「追加」ボタンはファイルを個別に追加する場合に使用しますが、1ファイルずつの追加操作に限定されます。

### ⑤「ディスク書き込みリスト」

パスワード保護しないファイル/フォルダーを登録します。

ここに登録されたデータはディスクのルートに書き込まれます。

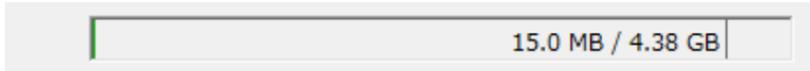
※ 「ディスク書き込みリスト」のみにデータを登録することはできません。

### ⑥「ディスク容量、書き込みデータサイズの表示」

ドライブにセットされたディスクのサイズ、書き込み予定のディスクサイズ、空き容量を表示します。

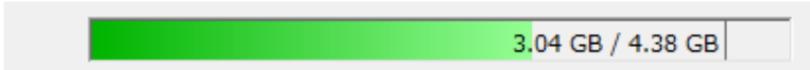
#### I. 未使用または消去済みのディスクをセットした場合

(オプションの設定にかかわらず、フリーレシーバー用に予め 15MB が予約されます)  
下図の例は DVD-R(4.7GB)の未使用ディスクをセットした状態です。



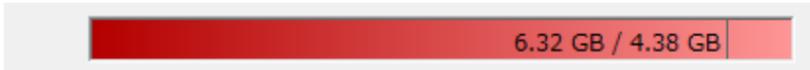
#### II. 書き込みが可能な状態です。(ゲージが緑色で表示されます)

下図の例は 3.04GB のデータが登録済みで、更にデータを登録することができます。



#### III. 書き込み予定のデータがディスク容量を超えている場合 (ゲージが赤色で表示されます)

ゲージの色がグリーンになるまで書き込むファイルを調整してください。



※ ディスクのサイズが正確に表示されない場合も「次へ」を選択して作業を進めることができますが、書き込むファイルがディスクサイズを超えないよう注意する必要があります。このような場合は、未使用のディスク使用をお勧めします。

## ⑦「アプリケーションアイコン」

クリックして「バージョン情報」を選択すると、ソフトウェアのバージョン情報を確認することができます。



## 第2節 ディスク作成前の準備

パスワード付きディスクの作成前に以下のことを確認しておくことをお勧めします。

1. 書き込み可能な光ディスクを用意する。  
データ記録済みのリライタブルディスクを使用する場合、予めWindowsの消去機能を使用してディスクを消去してください。  
※ 他社製のライティングツールを使用して消去やフォーマットをした場合、『LB CD/DVD ロック2』で使用できない可能性があります。  
※ 未使用のディスクを使用することをお勧めします。
2. 使用するディスクがシステムに対応しているか確認します。  
コンピューターに接続された光学ドライブが、使用するディスクへの書き込みをサポートしているか確認します。  
※ Windows Vista /XPの場合、OSのサービスパックやIMAPIの更新がされていない場合、これらを最新の状態にすることをお勧めします。

3. 一時フォルダー用のディスクスペースが十分に確保されているか確認します。  
一時フォルダー用に最大でディスクの2倍の空き容量が必要となることがあります。  
※ Blu-ray等の大容量ディスクを使用する場合は特に注意してください。
4. ドライブの書き込み速度について  
ディスクの書き込み速度は、使用するドライブが対応できる範囲内のディスクの最高速が使用されます。

### 第3節 ディスクの作成

パスワード付きディスクの作成手順について説明します。

1. 書き込みに使用するドライブにディスクをセットします。  
ディスクをセットすると、Windows から「ディスク書き込み」の方法を尋ねるメッセージが表示される場合は、「CD/DVD プレイヤーで使用する」または「キャンセル」、「閉じる (×)」をクリックしてください。

**重要:**

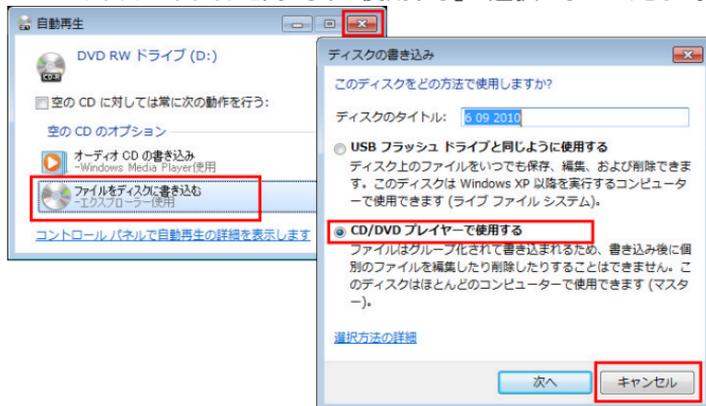
消去できないディスク(CD-R、DVD-R 等)をセットして「USB フラッシュ ドライブと同じように使用する」(Windows 7)、「ライブファイルシステム」(Windows Vista)を選択した場合、『LB CD/DVD ロック 2』で使用することができなくなります。

※ 書き換え可能なディスクの場合、書き込み時に消去の処理を要求されます。

表示されるメッセージは Windows のバージョンにより異なります。各 Windows によるメッセージを次に示します。参考にご覧ください。

### Windows 7

「閉じる」(×)、または「キャンセル」を選択します。  
「USB フラッシュドライブと同じように使用する」は選択しないでください。



### Windows Vista

「ファイルをディスクに書き込む」または「閉じる」(×)をクリックします。

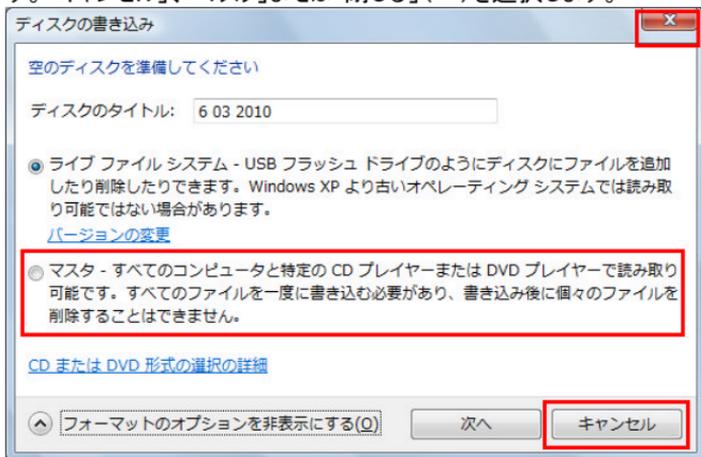


「ファイルをディスクに書き込む」を選択した場合、次のウィンドウが表示されます。

「キャンセル」または「閉じる」(×)を選択します。

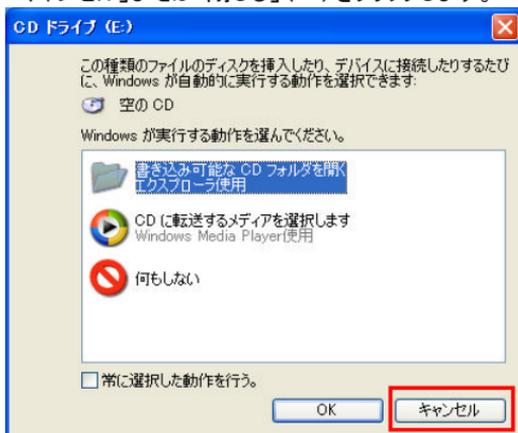


「フォーマットオプションを表示する」をクリックした場合、以下のメッセージが表示されます。「キャンセル」、「マスタ」または「閉じる」(×)を選択します。



Windows XP

「キャンセル」または「閉じる」(×)をクリックします。



2. 「スタート」メニューから「CD/DVD ロック 2」を選択してウィザードを起動します。
3. 「書き込み用ドライブ」を指定します。

書き込み用ドライブ

ディスクのタイトル

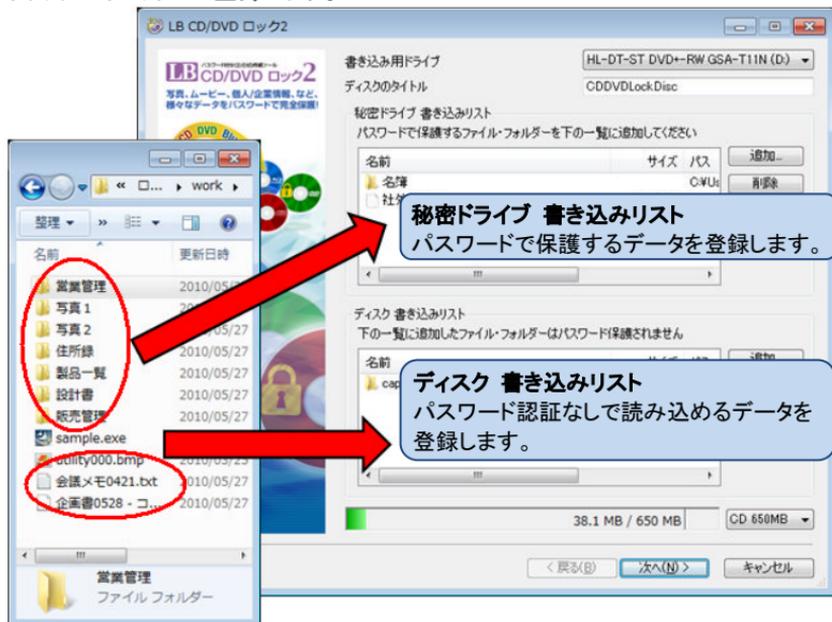
HL-DT-ST DVD+-RW GSA-T11N (D:) ▼  
HL-DT-ST DVD+-RW GSA-T11N (D:)  
MATSHITA DVD-RAM SW-9572 (F:)  
Optiarc BD RW BD-5730S (G:)

4. 「ディスクのタイトル」を入力します。

ディスクのタイトル

CDDVDLockDisc

5. パスワードで保護（暗号化）したいファイル/フォルダーは「秘密ドライブ書き込みリスト」へ、保護する必要のないファイル/フォルダーは「ディスク書き込みリスト」へそれぞれドラッグ&ドロップして登録します。



※ 「追加」をクリックしてデータを登録することもできますが、1 ファイル単位（フォルダーは不可）での登録となります。

※ 登録したデータを削除する場合は、ファイル/フォルダーを選択して「削除」をクリックします。

6. 「次へ」をクリックします。

※ 「秘密ドライブ書き込みリスト」になにもデータを登録しない場合は、「次へ」をクリックすることはできません。

7. 「パスワード」、「ドライブレター」、「暗号鍵長」、「有効期限」の設定をします。



### 「パスワード」

パスワードを 1 バイト以上の英数字、記号、空白を含む印刷可能な半角文字（半角カナを除く）で設定してください（大文字、小文字を判別します）。ここで設定したパスワードは、パスワード付きディスクを使用する際に必要となりますので大切に保管してください。

万一パスワードを紛失した場合、そのディスクに保存されたデータにアクセスすることは不可能になりますのでご注意ください。

### 「ドライブレター」

暗号化領域に使用するドライブレターを選択します。ここで選択するドライブレターは

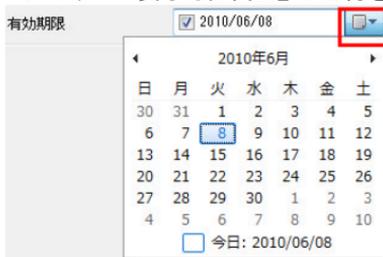
自動で設定することもできますし、任意に指定することもできます。

### 「暗号鍵長」

暗号化に使用する鍵長を選択します。128/256 ビットの AES を選択できます。

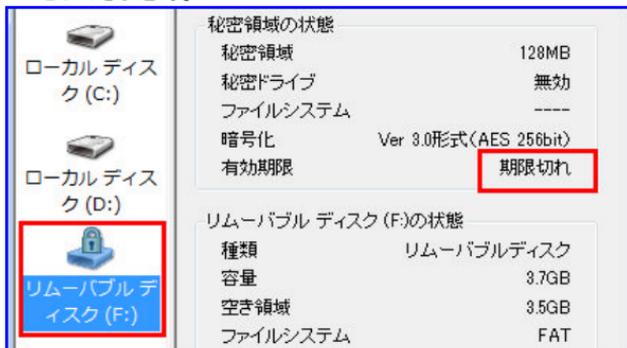
### 「有効期限」

パスワード付きディスクの有効期限を設定します。日付の右にあるタブをクリックするとカレンダーが表示され、任意の日付を指定することができます。



有効期限を過ぎたディスクは「期限切れ」と表示され、使用することができません。

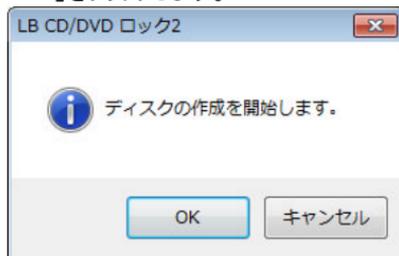
※ 有効期限切れとなったディスク内容の復旧に関するサポートは一切受け付けることができません。



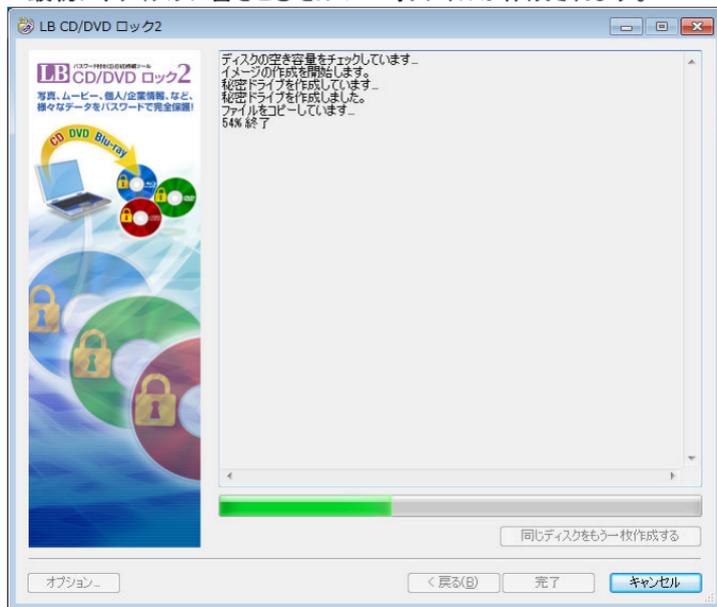
8. 「作成」をクリックします。

## LB CD/DVD ロック2 利用ガイド

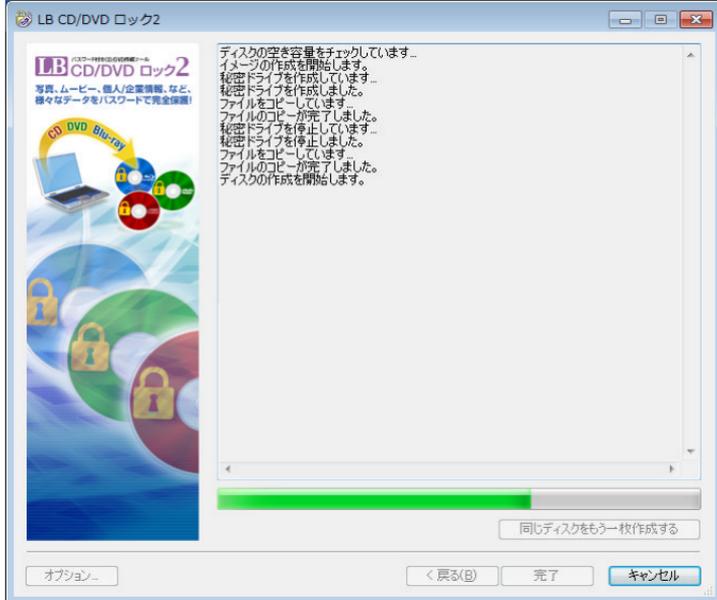
### 9. 「OK」をクリックします。



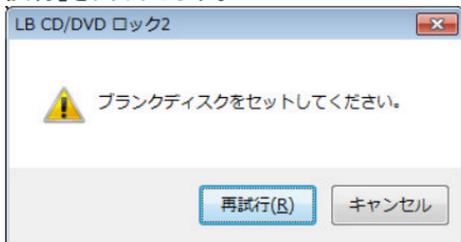
### 10. 最初に、ディスクに書きこむための一時ファイルが作成されます。



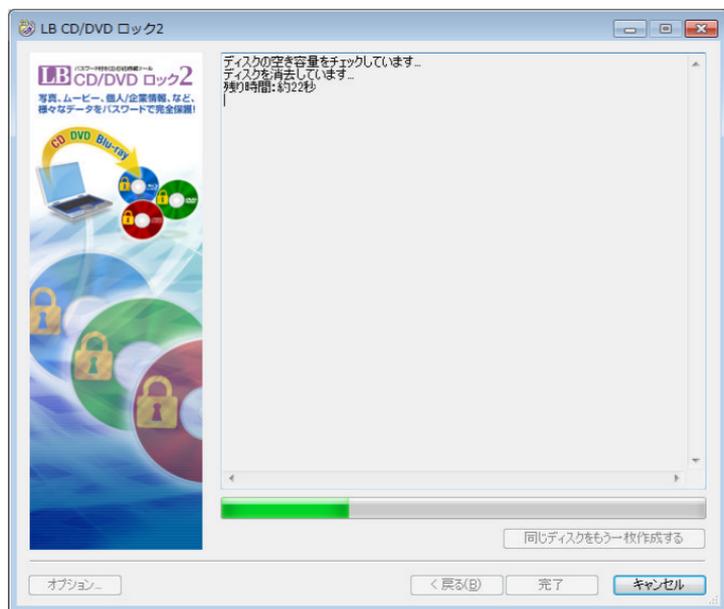
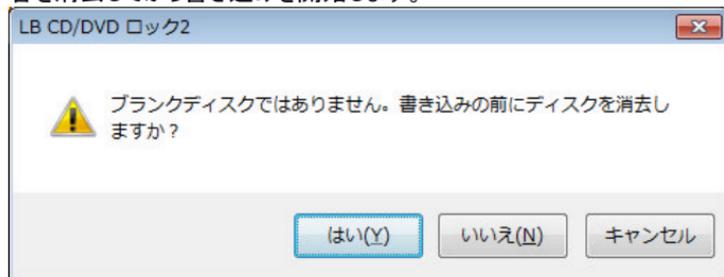
11. 一時ファイルの作成が完了すると、実際のディスクへの書き込みが開始されます。一時ファイルの作成が完了すると、メッセージウィンドウに「ファイルのコピーが完了しました」と表示され、続けて「ディスクの作成を開始します。」と表示されます。



12. 指定されたドライブにディスクがない場合や書き込み不可のディスクがセットされている場合は以下のメッセージが表示されます。新しいディスクをドライブにセットして「再試行」をクリックします。



データ記録済みのリライタブルディスク(CD-RW/DVD-RW 等)がドライブにセットされている場合、以下のメッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、ディスクの内容を消去してから書き込みを開始します。



書き込みが完了すると以下のメッセージが表示されます。

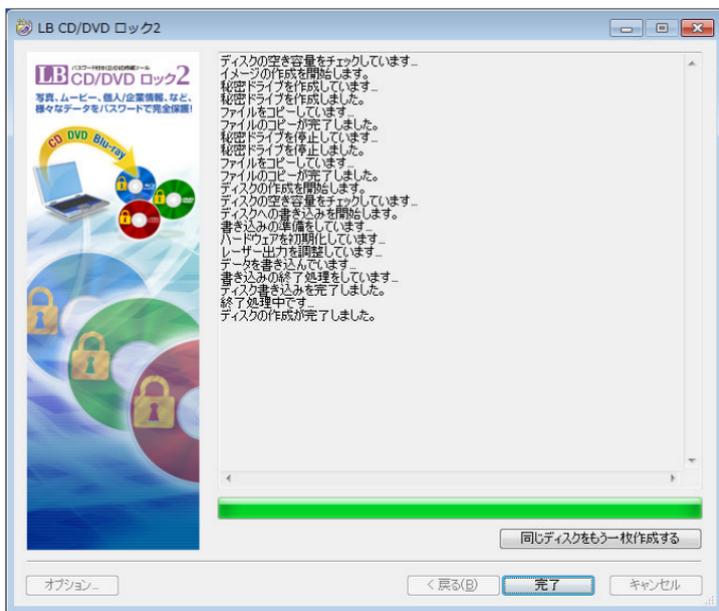
データを書き込んでいます...  
書き込みの終了処理をしています..  
ディスク書き込みを完了しました。  
終了処理中です  
**ディスクの作成が完了しました。**

「完了」をクリックするとウィザードの初期画面に戻ります。

同じディスクをもう一枚作成する場合は「同じディスクをもう一枚作成する」を選択します。

#### 注意：

「完了」をクリックすると書き込み用の一時ファイルはすべて消去されます。



## 第4節 パスワード付きディスクを使用する

『LB CD/DVD ロック 2』にて作成したパスワード付きディスクは、標準でディスクに添付される『LB フリーレシーバー』を利用してパスワード認証をします。

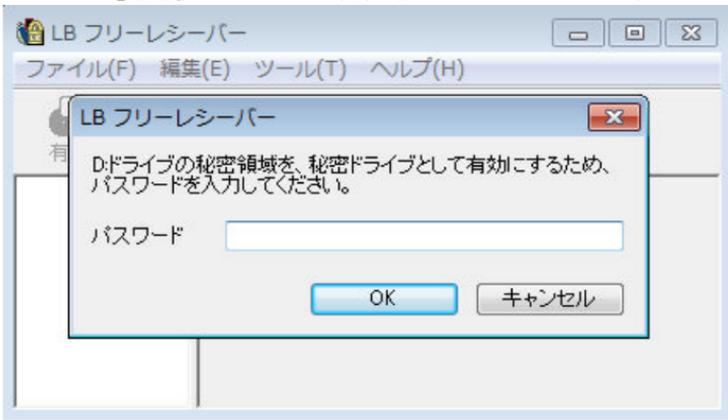
※ 標準以外の設定で作成されたディスクや、コンピューターに『LB メディアロック 3』や『キチッと秘密メディアロック』シリーズがインストールされている場合は、「第 5 章 フリーレシーバー」をご参照ください。

パスワード認証の手順：

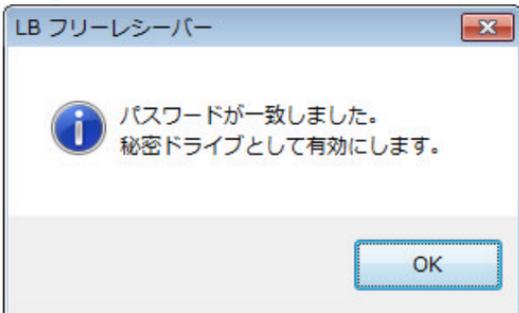
1. パスワード付きディスクをコンピューターにセットすると自動再生のメッセージが表示されます。「LB フリーレシーバーの実行」を選択してください。  
自動再生がオフになっている場合、ディスクのルートから「¥LBFR.exe」を実行します。



2. 『LB フリーレシーバー』が起動すると同時にパスワード付きディスクのパスワード認証を求められるので、パスワードを入力して「OK」をクリックします。「キャンセル」を選択してパスワード認証を後でもすることもできます。



3. 正しいパスワード入力が確認されると以下のメッセージが表示されます。「OK」をクリックします。

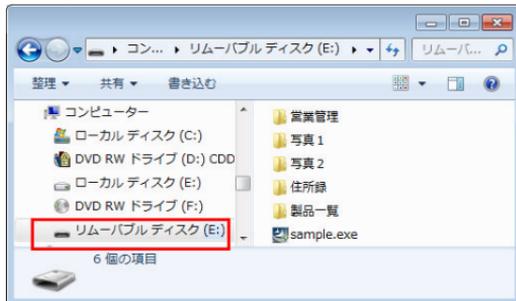


4. 『LB フリーレシーバー』上に、パスワード付きディスクの暗号化領域が「秘密ドライブ」として表示されます。

パスワード認証後の暗号化領域が「秘密ドライブ」として表示されています。



- ※ 画面上からアイコンをクリックしても暗号化領域にアクセスすることはできません。暗号化領域(秘密ドライブ)へのアクセスは「エクスプローラー」、「コンピューター」を使用します。



コンピューター上からは暗号化領域が「ドライブ E:」として表示されています。

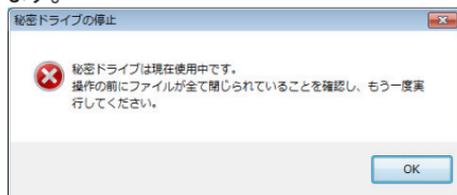


5. データの使用が終了したら、「停止」または「すべて停止」をクリックします。停止をした後は「秘密ドライブ」のアイコンが見えなくなり、暗号化領域に保存されたデータは不要なアクセスから保護されます。



### 秘密ドライブを終了できない場合

秘密ドライブ内のファイルが他のアプリケーションによって使用中の場合、「停止」をクリックしても下図のメッセージが表示され、秘密ドライブを終了できないことがあります。



このような場合は以下の操作をしてください。

- (1) 他の起動中のアプリケーションをすべて停止する。  
ウイルス対策ツール等がファイルをスキャンしていることがあります。
- (2) 数分待ってから再度「停止」をクリックする。
- (3) ディスクドライブのディスク排出ボタンを押してディスクの取り出し操作をする。
- (4) コンピューターを再起動/シャットダウンする。  
ディスクの取り出し操作、コンピューターの再起動/シャットダウンをすると、秘密領域は強制的に終了します。

## 第5節 ディスクの書き込みに失敗する場合

ドライブやディスクの不良等なんらかの原因によりディスクへの書き込みに失敗することがあります。

このような場合、一時フォルダーに保存したファイルを利用して他のライティングツールからパスワード付きディスクを作成することができます。

書き込みが失敗する場合、以下のことが原因として考えられます。

- ① 書き込み済みリライタブルディスクの消去失敗
- ② ディスクの初期不良
- ③ ドライブとディスクの相性問題

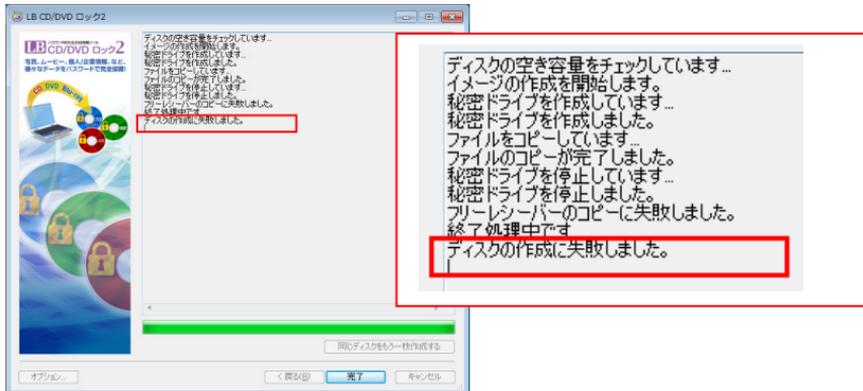
- ④ ドライブの故障、不具合  
 ⑤ 1ファイルが4GBを超えるファイルをパスワード保護領域(秘密領域)に登録した場合

ディスクへの書き込みが失敗する場合、書き込み用の一時ファイルを使用して、他のライティングツールからパスワード付きディスクを作成することができます。

- ※ 一時ファイルの作成が正常に完了できない場合は、この方法は使用できません。  
 ※ 上記の失敗する原因⑤のケースでは初期画面からファイルの登録をやり直す必要があります。

## 一時ファイルを利用してパスワード付きディスクを作成する方法

ディスクの作成に失敗すると、以下のメッセージが表示されます。



### 重要:

ここで「完了」をクリックしないでください。「完了」をクリックすると一時データは削除され、書き込みたいデータの登録から作業をやり直す必要があります。

### 手順:

1. 「ディスクの作成に失敗しました。」のメッセージが表示されたウィザードを閉じずに、エクスプローラーから一時フォルダーを開きます。  
 「オプション」の設定変更をしていない場合、一フォルダーのパスは以下の通りです。

Windows 7 Vista

C:\Users\<ユーザー名>\AppData\Local\Temp\

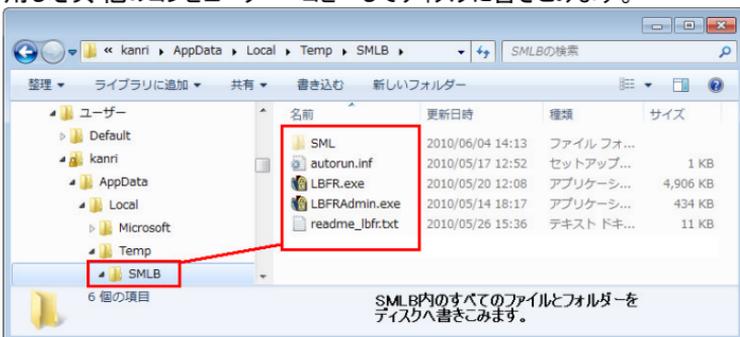
Windows XP

C:\Documents and Settings\<ユーザー名>\Local Settings\Temp\

※ ユーザー名: Windows にログインしているユーザー名

一時フォルダーについては「第 4 章 第 1 節 P26」もご参照ください。

2. 一時フォルダー「SMLB」に保存されたすべてのデータを他のライティングツール等を利用したり、他のコンピューターへコピーしてディスクに書きこみます。



上図は Windows 7 環境にて「オプション」の設定を標準設定（フリーレシーバーをコピーする）にした場合の一時ファイルです。

SML（フォルダー）、autorun.inf、LBFR.exe、LBFRAdmin.exe、readme.txt をディスクのルートに書きこみます。

『LB フリーレシーバー』が必要ない場合、SML（フォルダー）のみを書きこみます。

※ SMLB フォルダーをフォルダーごと書き込まないでください。

※ フォルダー「SMLB」は隠し属性フォルダーです。Windows の標準設定では表示されません。表示オプションの設定変更が必要となります。

3. データが書き込まれたディスクは、『LB CD/DVD ロック 2』のウィザードを使用して作成されたディスクと同様に使用することができます。

## 第5章 フリーレシーバー

### 第1節 フリーレシーバーについて

『LB フリーレシーバー』は『LB CD/DVD ロック 2』で作成したパスワード付きディスクをパスワード認証して使用するためのツールです。



フリーレシーバーにはインストール不要なタイプとインストーラーの2種類があります。

種類	特長
インストール不要なタイプ	ファイルの実行だけで起動することができますが、管理者権限ユーザーでコンピューターにログオンしている必要があります
インストーラー	プログラムをインストールする必要があります。管理権限ユーザーでインストールする必要がありますが、インストール後は制限ユーザーで使用できます。

## 『LB フリーレシーバー』の操作画面について

### ステータスアイコンの種類

パスワード	
	<b>暗号化領域が存在するディスク/ドライブ(秘密領域は有効中)</b> 現在有効になっている暗号化領域が存在するディスク(ドライブ)はこのアイコンが表示されます。
	<b>暗号化領域が存在するディスク/ドライブ(秘密領域は停止中)</b> 停止中の秘密領域が存在するディスク(ドライブ)はこのアイコンが表示され、選択すると「ユーティリティ」の右ウィンドウに暗号化領域、ドライブの状態が表示されます。
	<b>有効中の暗号化領域(秘密ドライブ)※</b> 現在有効になっている暗号化領域はこのアイコンが表示され、選択すると「ユーティリティ」の右ウィンドウに状態が表示されます。
	<b>暗号化領域が存在しないディスク/ドライブ</b> 暗号化領域の存在しないディスク(ドライブ)はこのアイコンが表示され、選択すると「ユーティリティ」の右ウィンドウにドライブの状態が表示されます。

### アイコンメニューの各ボタンについて

アイコン	説明
 有効	未認証(無効)の暗号化領域を有効にします。このボタンを選択するとパスワード入力画面が表示されます。
 停止	指定した1つの秘密ドライブを停止します。秘密ドライブの利用を終了します。
 すべて停止	すべての秘密ドライブを停止してアプリケーションから見えないようにします。

## 第2節 フリーレシーバーご利用上の注意事項

- 『LB フリーレシーバー』はメディアロックシリーズと部分的な互換性がありますが、1台のコンピューターに共存することはできません。詳細は第3節をご参照ください。
- 『LB フリーレシーバー』は『LB CD/DVD ロック2』を所有する1人のユーザーが複数のパソコン上で使用することができますが、このツールに対してのサポートは提供しておりません。予めご了承ください。
- 『LB フリーレシーバー』には「インストール不要なタイプ」と「インストーラー」の2種類があり、パスワード付きディスクの作成時にどちらかを添付することができます。

## 第3節 メディアロックシリーズとの互換性について

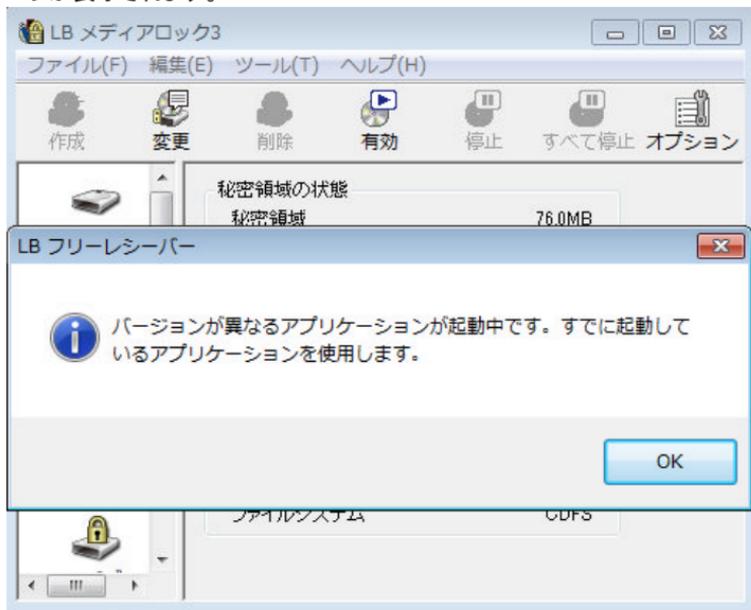
『LB CD/DVD ロック2』にて作成されたパスワード付きディスクは、『LB フリーレシーバー』の他に『LB メディアロック3』(3.0.2)、『LB メディアロック3 フリーレシーバー』(3.0.2)を使用して認証することができます。

『LB フリーレシーバー』と『LB メディアロック3 フリーレシーバー』(3.0.2)の機能は同等です。

メディアロックシリーズの以下のプログラムがインストールされている場合、『LB フリーレシーバー』を使用、またはインストールすることはできません。

キチッと秘密メディアロック (Ver. 1、2、2.5)
LB メディアロック3 (※)
キチッと秘密メディアロック2 フリーレシーバー
キチッと秘密メディアロック2 Ver.2.5 フリーレシーバー
LB メディアロック3 フリーレシーバー (※)

前ページの表にあるプログラムがインストールされたコンピューターに、標準設定にて作成されたパスワード付きディスクをセットすると『LB フリーレシーバー』起動時に以下のメッセージが表示されます。

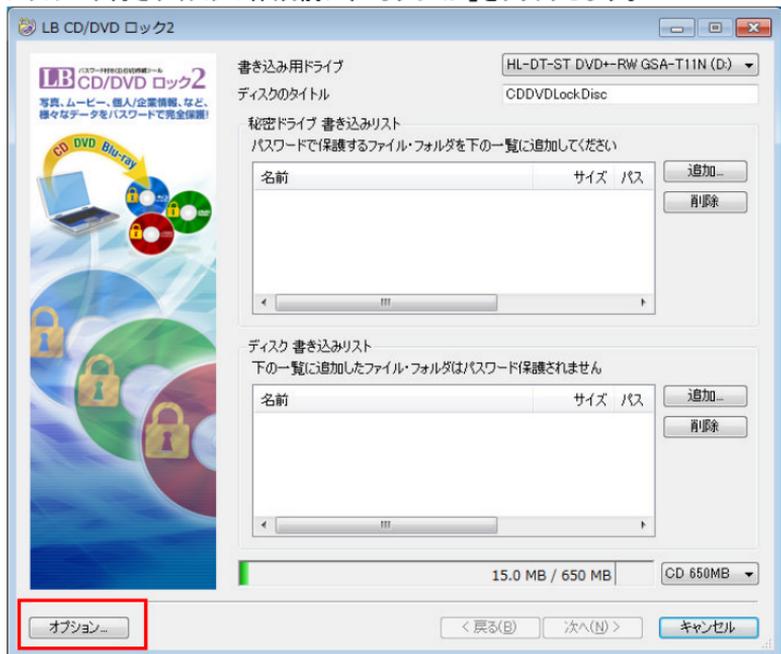


『LB メディアロック3』(3.0.2)、『LB メディアロック3 フリーレシーバー』(3.0.2)がインストールされているコンピューターの場合、「OK」をクリックしてそのまま認証することができますが、旧バージョンのメディアロックシリーズやフリーレシーバーがインストールされている場合、それらのプログラムをアンインストールする必要があります。

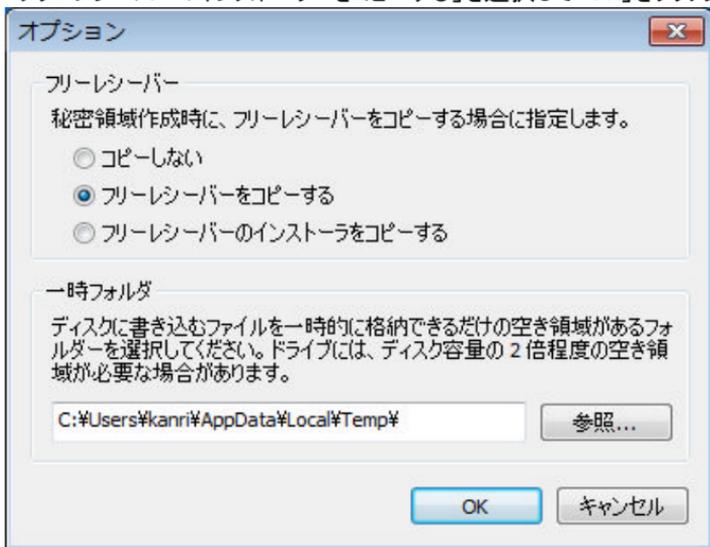
## 第4節 フリーレシーバーをディスクに添付する

フリーレシーバーをパスワード付きディスクに添付する手順を説明します。

1. パスワード付きディスクの作成前に、「オプション」をクリックします。



2. 「オプション」画面が表示されますので、「フリーレシーバーをコピーする」または「フリーレシーバーのインストーラーをコピーする」を選択して「OK」をクリックします。



### ① 「コピーしない」

パスワード付きディスクの作成時に『LB フリーレシーバー』をパスワード付きディスクにコピーしません。

※ 『LB CD/DVD ロック2 自体には、作成されたパスワード付きディスクを認証する機能はありません。』このオプションは『LB フリーレシーバー』、『LB メディアロック 3』等がインストール済みの環境でディスクを使用するためのものです。

② 「フリーレシーバーをコピーする」パスワード付きディスクの作成時に『LB フリーレシーバー』(インストール不要なタイプ)を作成先のディスクにコピーします。

### ③ 「フリーレシーバーのインストーラーをコピーする」

パスワード付きディスクの作成時に『LB フリーレシーバー』(インストーラー)を作成先のディスクにコピーします。

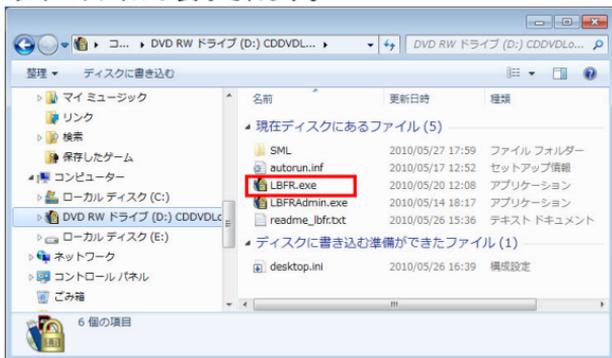
## 第5節 フリーレシーバーの起動とインストール

### インストールする必要のないタイプ

インストールする必要のないタイプの『LB フリーレシーバー』を選択した場合、パスワード付きディスクの作成時に、次のようなファイルがディスクにコピーされます。

SML (隠し属性フォルダー)	暗号化されたデータが保存されています。
autorun.inf	自動起動用設定ファイル
LBFR.exe	実行するとフリーレシーバーが起動します。
LBFRAdmin.exe	フリーレシーバー用コンポーネント
Readme_lbfr.txt	フリーレシーバーについてのドキュメント

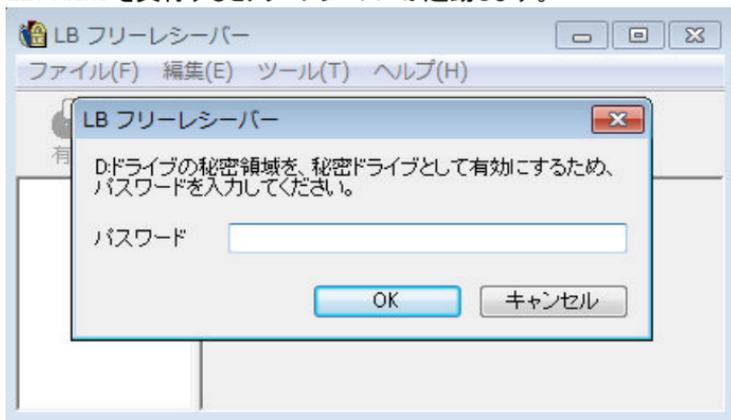
作成したパスワード付きディスクをエクスプローラーで開くと、ディスクのルートディレクトリには以下のファイルが表示されます。



- ※ 暗号化しないデータ(ファイル/フォルダー)をディスクに含めている場合、それらのデータはディスクのルートに保存されています。
  - ※ フォルダー「SML」には、秘密領域を構成する隠しファイル SML.dat、SML0.dat が保存されています。  
ファイルが見当たらない場合は、隠し属性ファイルの表示オプションを変更する必要があります。
- Windows 7/Vista の場合、「コンピューター」から「整理」-「フォルダーと検索のオブ

ション」-「表示」から表示オプションを変更することができます。  
「すべてのファイルとフォルダーを教示する」を選択してください。  
Windows XP の場合は、エクスプローラーの「ツール」-「フォルダーオプション」-「表示」-「ファイルとフォルダーの表示」にある「すべてのファイルとフォルダーを表示する」をチェックします。

LBFR.exe を実行するとフリーレシーバーが起動します。



## インストーラー

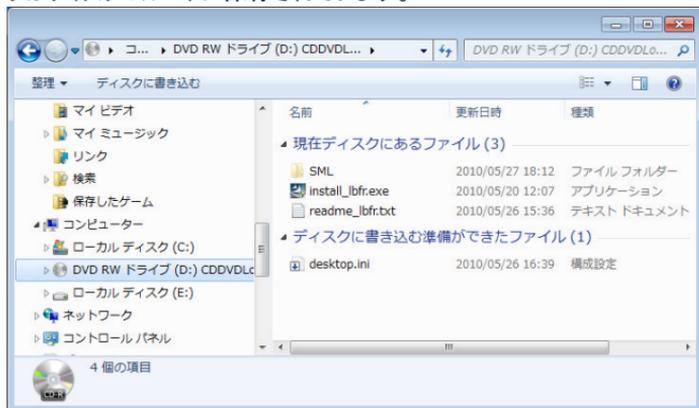
使用するためには使用するパソコンに『LB フリーレシーバー』をインストールする必要があります。インストール方法を以下に説明します。

※ インストール時は管理者権限ユーザーでコンピューターにログオンしている必要があります。

作成したパスワード付きディスクをエクスプローラーで開くと、ディスクのルートディレクトリには以下のファイルが表示されます。

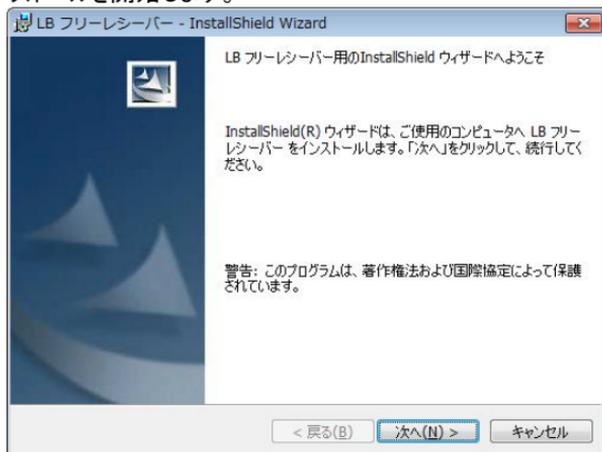
SML (隠し属性フォルダー)	暗号化されたデータが保存されています。
Install_lbfr.exe	実行するとインストーラーが起動します。
Readme_lbfr.txt	フリーレシーバーについてのドキュメント

※ 暗号化しないデータ(ファイル/フォルダー)をディスクに含めている場合、それらのデータはディスクのルートに保存されています。



インストール手順:

1. 秘密領域を作成したディスクから「install\_lbfr.exe」を実行します。
2. 『LB フリーレシーバー』のインストーラーが起動するのでウィザードの指示に従いインストールを開始します。



3. インストール完了後、「スタート」メニューの「LB フリーレシーバー」を選択して『LB フリーレシーバー』を起動することができます。  
※ ご使用の環境によりコンピューターの再起動が必要となる場合があります。



## LB CD/DVD ロック2 利用ガイド

---

2010年7月2日

第1版 第1刷発行

(非売品)

著作 株式会社ライフポート

発行所 株式会社ライフポート

東京都千代田区神田神保町 2-2-34

©2010 株式会社ライフポート

---



**LB** パスワード付きCD/DVD作成ツール  
**CD/DVD ロック2**